

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
保育内容健康 Content of childcare (Health)		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(保育士養成課程必修、教職課程必修(幼稚園教諭二種))	こどもフィールドのみ
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
保育内容総論、子どもの保健Ⅰ、乳児保育Ⅰ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
保育士資格取得に必要な科目、幼稚園教諭二種免許取得に必要な科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
久保田隆範	本館3階	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
保育内容5領域における「健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う『健康』の領域」に関する学びである。 乳幼児の生涯にわたって必要な生活行動の基礎を学習し、社会に適応していく能力を身につけるための」保育者としての知識と援助を学ぶ。				
授業の目標				
①「健康の定義」を説明することができるようにする。 ②「日々の健康観察」の項目を述べることができるようにする。 ③子どもの安全についての理解を深めることで、安全に関する保育活動の配慮について述べるができるようにする。 ④こどもにとっての遊びの重要性と保育者の関わり方を考え、遊びの環境を構成することができるようにする。 ⑤基本的な生活習慣とは何かを具体的に述べるができるようにする。				
授業の方法				
使用する教科書で述べられている重要事項については説明を含む講義とする。保育の専門的な用語や表現の学びに繋がることを目指し、テキストから必要事項を見つけ出し書き込むプリントの演習課題にも取り組む。また、保育の力を身につけることを目的とした資料作成(指導案、ヒヤリハットマップ)の課題に取り組む。				
学習の成果(学習成果)				
「日々の健康観察」「遊びに関する保育者の役割」「安全に生活するための工夫」「基本的な生活習慣を身につけることの意味」を具体的に述べるができるとともに、保育内容の5領域を踏まえた「健康」の領域に関する取り組み方の保育計画を立案することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス(シラバス、授業の特徴、実習との関連、授業への取り組み方、課題について具体的に説明する)			
第2回目	「子どもの心身の健康」～心の安定～			
第3回目	『保健への配慮と指導・援助』～日々の健康観察、子どもたちの健康状態の把握～			
第4回目	「安全の管理と指導・援助」～安全管理の意義と目的～			
第5回目	「園外保育と健康」～安全の指導と援助(災害時の対応・保育含む)～			
第6回目	保育の場における応急処置の基本的理解と保育者の心構え			

第7回目	「ヒヤリハットマップ」とは～作成方法について～と、なぜなぜ分析	
第8回目	「領域『健康』の意味」～「健康の定義」～ 小テスト	
第9回目	子どもの心・頭・体に関わる現状と課題① 体の側面から	
第10回目	子どもの心・頭・体に関わる現状と課題② 心・頭の側面から	
第11回目	「遊びと健康」～室内遊びと戸外遊びについて～	
第12回目	「健康にかかわる遊びと保育者の援助」～固定遊具、鬼ごっこ、ボール遊び、かけっこの遊びの特質～遊びに関わる部分指導案作成について	
第13回目	「基本的生活習慣の指導・援助」① グループ調査	
第14回目	「基本的生活習慣の指導・援助」② グループ発表	
第15回目	領域「健康」の目指すものの確認 母親の手記を聞き、保育者としての保護者に対する関わり方や考え方をまとめる 小テスト	
事前・事後学習	ITや図書館を活用して、不明点は必ず調べること。 近くの公園やあそび場などを見に行き、現状を理解すること。	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	割合
		評価の基準
授業参加態度	20%	教科書を持参していること。授業内で取り組む指導案作成に熱意を持って取り組み、健康の領域として認められる内容とねらいの指導案であること。
レポート	15%	詳細に課題を探究し、内容構成もしっかりしており、課題の要件を十分に満たしている。 (詳細授業内で説明する)
調査報告書		
小テスト	30%	第8回、第15回で実施する。各15点ずつの配点とする。
試験		
発表内容（態度含む）	20%	14回目にグループ発表を実施。現代の子どもの基本的生活習慣における明確な問題定義とそれに対する対策等が述べられること。
その他	15%	授業内で配布された資料や課題プリントが空欄なく記入されている。
教科書と参考図書		
教科書：『シードブック 保育内容「健康」 第2版』（建帛社） 参考図書：『保育所保育指針』（厚生労働省） 『幼稚園教育要領』（文部科学省）		
履修上の留意点・ルール		
机上の整備に努めること。 授業を欠席し授業内配布のプリントを受け取ることが出来ない場合は、必ず欠席届を持参して研究室を訪れ資料請求を申し出ること。 実習に関わる授業追加の日程により、授業スケジュールを変更することもある。		